

国際協力機構東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

派遣先：東ティモール民主共和国 東ティモール大学
 派遣期間：平成 26 年 11 月 10 日(月)～11 月 23 日(日)
 技術職員：1 名

活動内容：

1. 縦フライス盤メンテナンス指導

- X、Y 軸リニアスケール取替え
- カミソリ（ギブ）調整

2. 旋盤での長軸加工方法指導

- 3. CNC 旋盤での生爪利用方法と加工方法指導
- 4. 機械工作における安全心得作成の指導
 - 現状調査
 - 機械工作全般の安全心得作成
 - 工作機械ごとの安全心得作成
- 5. 技能達成度調査



携行機材でのリニアスケール。
 上が X 軸用、下が Y 軸用。
 縦フライス盤のメンテナンス開始。



取り付け時、テストインジケータ
 にて平行を確認。



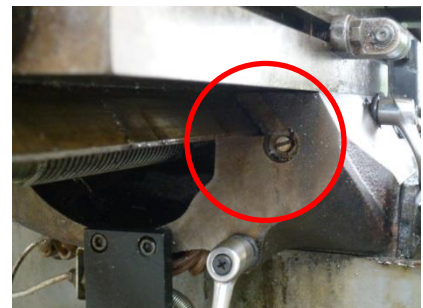
平行が確認できたら、取り付けボルトを締め付ける。



X 軸、Y 軸ともに取替え完了。



カウンタも取替え完了。
 動作確認終了。



スライド面のカミソリ調整。
 ○内のねじの締め付けで調整を行う。



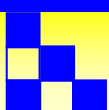
旋盤での固定振れ止めの使用。
 軸の振れがないように調整する。



旋盤での長軸の加工。バイトにも工夫し、ビビリが少ないようにしている。



ジュビアーノ教官が卒業研究の指導を行っている様子。





バレリオ教官と工学部機械工場の機械工作における安全心得を作成中。



工学部、工作実習の様子。15人が授業中。



授業を受ける学生たちのリーダー。彼らのリーダー力は欠かせない。



東ティモール大学の卒業式の様子。卒業生が整列。



まず、最初に各学科の代表者が証書を授与される。



バレリオ教官が新築した家。首都ディリから車で約4時間。静かな村にある実家。



新築祝に日本製のからくり壁時計をプレゼント。家族、親族が集まり、記念撮影。



近隣村対抗のバレーボール大会。村人は、プレーに一喜一憂。サッカーとともに人気競技。



ヘラの峠からディリ市内の夜景を撮影。以前より明かりが増えました。

東ティモール大学工学部ヘラキャンパスの機械工場にて、7日間の支援を行った。今回の主たる支援は、工学部機械工場に合った機械工作における安全心得を作成することであった。2008年からの工学部への支援と海外青年協力隊員の河西氏の活躍で、機械工場がスムーズに動き始めている。この時こそ機械安全に関する心構えをしっかりと行う必要があった。日本語、英語、テトゥン語で案を作成。今後は教官たちが育ててくれることを期待する。

今回も思いがけず卒業式を見学することが出来たし、日帰りで地方に出かけられるなど、貴重な体験が出来た。バレーボール大会の会場では、外国人？という顔で見られたが、基本的には皆さん好意的で優しい。

